

新総合計画策定市民参画事業

フィールドワーク型

ワークショップ

まち歩き フィールドCafé

市民力を考えよう

活動報告

仙台市では、市民の皆さまからの意見を取り入れながら新しい総合計画づくりを進めるにあたり、実際にまちづくりに取り組んでいる方たちの活動の現場(フィールド)を見て、聞いて、みんなで話し合っ、市民の力の輝くまちづくりを考えていく「まち歩きフィールドCafé」を開催しました。

開催日

1日目 平成22年8月28日(土)

- 9:00 集合・受付
ガイダンス
- 9:45 フィールドへ出発
- 10:15 フィールド①
- 11:45 休憩
- 13:00 フィールド②
- 15:00 フィールド③
- 17:00 市役所到着・解散

2日目 平成22年9月4日(土)

- 10:00 集合・出発
- 10:30 フィールド④
- 12:30 市民活動サポートセンター
到着・休憩
- 13:15 全体会
- 17:00 解散

参加者 市政だより等による公募市民 31名

I フィールドワーク



さまざまな年代の参加者同士がグループ(グループききょう、ゼラニウム、ぶどう、だいこん草)を組み、4つのフィールドを順に訪問し、活動の実践者からお話を聞き、活動現場を見学した後、先に訪問したグループの意見を踏まえながら、各フィールドの可能性や課題の発見、今後に向けた企画などを話し合いました。



II 全体会



4つのフィールドを訪問後、仙台市市民活動サポートセンターで開催された全体会で、参加者自身ができることやしてみたいことを出し合い、それらをつないで、グループで地域のためにできることを考え、寸劇の形式でまちづくりへの参画を呼びかけるコマーシャル(CM)を作成しました。

各グループの活動の様子



III 活動発表

市民力が輝くまちづくりを進めていくために、「まち歩きフィールド Café」を通して参加者の皆さんが気づいたこと、学んだこと、もっとこうなったらいいと感じたことなどを「まちづくり市民フォーラム」、「仙台市総合計画審議会」で参加者の代表により発表しました。

まちづくり市民フォーラム (平成 22 年 10 月 10 日 (日) せんだいメディアテークで開催)



私が、この活動の時間に感じたことは、年代も職業も全く異なる人たちが集まって、限られた時間の中でひとつの結果を出すために協力し合い、チームワークをつくることができるんだという驚きと喜びでした。これこそ、まさに市民力、人間力なのではないかと感じました。

すごいパワーの市民力を感じることができ、自分たちも生活する上で自然にまちづくりに関わっているんだという意識も芽生えました。



○都市の魅力部会 (平成 22 年 10 月 25 日(月) 仙台市役所第 2 委員会室で開催)



グループだいこん草の北波克彦さん

訪問したフィールドの現在の特徴を横系とし、歴史的な特徴を縦系とし、その系によって仙台のまちを「縁」でつなぎたい。



グループぶどうの南部陽菜さん

訪問したフィールドは、自分たちができることを起点としていることが発見だった。市民の「何かしたい」という気持ちを実行に移せる環境を作っていくが必要だと思っています。

○市民の暮らし部会 (平成 22 年 10 月 26 日(火) 仙台市役所第 4 委員会室で開催)

グループぶどうの宮本浩さん

いろんな年代の人とお話し合い、考えることのおもしろさを感じたし、(市民は)言わないだけで、いろんな考えをもっているとも感じたので、もっと市民の意見を反映させてほしい。それがフィールドのため、市民のため、仙台のためになる。



グループききょうの林慎吾さん

参加してみて「自分も市民力を持っている」ことに気付いたし、「まちCafé」は「既に発揮されている市民力があることを知り実際に見て体験できる気付きの場」であった。



発表者と審議会委員との意見交換
風景



審議会委員: フィールドでの活動のエネルギーは何だと感じましたか。

発表者: 自分のできること、したいことから始めているので、実践者の方々は活動に誇りを持っており、それがフィールドでのエネルギーの源になっている。